

# エポマリンNS

EPOMARINE NS

一般名称	無溶剤変性エポキシ樹脂塗料			
適用規格	—			
系統	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2液形)			
主な用途	【橋梁用】			など
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス
	○	×	×	×

特長

- 1) 無溶剤形であるので火気による危険性が少ない。
- 2) 厚塗りができ、塗装後の塗膜の肉やせがない。
- 3) 無溶剤形タールエポキシと同等の性能がある。

塗料性状	塗料密度(比重)	1.41(白)	
	溶剤密度(比重)	—	
	加熱残分	94%(白)	
法令など		ベース	硬化剤
	劇物表示 (品名・含有率)	—	イソホロンジアミン 16.8%
	労安法上の 表示有害物	—	—
	使用有機 溶剤種別	—	—
	消防法による 危険物区分	可燃性液体	第3石油類(非水溶性)
	硬化剤の成分 による区分	変性脂肪族ポリアミン	
	ホルムアルデヒド 放散等級	—	

製品情報		ベース	硬化剤
	荷姿	9.6kgセット	8kg
	混合比(重量比)	ベース:硬化剤=5:1	
	主な色(色相)	白(N-93近似)、グレー(N-7近似、N-85近似)	

素地調整

- 被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。
- 水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。
- 詳細は塗装仕様書を参照ください。

使用方法	調合方法	ベースと硬化剤を規定どおりの割合でよく混合したのち使用する。
	熟成時間	不要 ※規格に規定があるものは、それに準拠してください。
	使用シンナー	シンナーの使用は不可 洗浄用シンナー: テクトEPシンナー
	希釈率(重量比)	—
	エアレススプレー	—
	塗装条件	—

# エポマリンNS

EPOMARINE NS

## 使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m <sup>2</sup> /回
—	—	—	—
ハケ塗り	120	150	300

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

## 乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5℃	10℃	20℃	30℃		
乾燥時間	指触	10時間	8時間	4時間	2時間		
	半硬化	48時間	36時間	24時間	16時間		
標準塗装間隔 注)	最短	72時間	60時間	48時間	24時間		
	最長	14日	12日	10日	10日		
可使時間		1.5時間	1時間	1時間	30分		

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用	強溶剤:	—
下塗塗料	弱溶剤:	—
	ハイソリット:	—
	水性:	—
主な適用	強溶剤:	—
上塗塗料	弱溶剤:	—
	ハイソリット:	エポマリンNSなど
	水性:	—

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用、長時間 100℃耐用  
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	90.3	1.1

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または  
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で  
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。  
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。  
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。  
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。  
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の  
注意事項 1)ベースと硬化剤は5/1の割合で混合してください。混合には自動攪拌機が必要で十分に攪拌してください。  
2)可使時間が短いので塗装に必要な量のみ混合してください。可使時間は混合量が多くなると短くなるので注意してください。可使時間をすぎると発熱が強くなり、場合によっては発煙をとめないゲル化します。  
3)塗装は温度が5℃以上30℃以下、湿度85%以下の範囲で行ってください。ただし温度が10℃以下では乾燥が著しく遅くなり、塗料粘度が高くなるため作業性が悪くなります。  
4)塗装作業中の換気は火気の危険性がなくても十分に行ってください。照明には防爆型を使用してください。  
5)塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。  
本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。  
6)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、MSDS(製品安全データシート)を参照してください。